

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 28 日現在

機関番号：32614

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2014～2016

課題番号：26381097

研究課題名（和文）保育相談力向上をめざす園内研修システムの開発

研究課題名（英文）Development of a in-school training system for improving consultation competencies of kindergarten teachers

研究代表者

神長 美津子（kaminaga, mitsuko）

國學院大学・人間開発学部・教授

研究者番号：80353390

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,500,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、私立幼稚園における園内研修の実態調査から、園長、研修担当教員、新規採用教員のそれぞれが研修に異なるイメージを持っていることを明らかにした。

園の保育相談力向上のためには、カリキュラム検討のみで終始する「従来型」の園内研修から脱却し、個別の事例を取り上げて、教員間で子どもの見方や環境の在り方を話し合うことは重要であり、保育実践を交流して学び合う園内研修は、新規採用教員の研修にも、また他の教員の研修にも有効である。ただし、この場合、園内研修の中核としての中堅教員の役割は重要であり、ここを基盤にして園内研修システムを再構築することが求められることを確認した。

研究成果の概要（英文）：In the present study, we conducted questionnaires to private kindergartens and found that principals, mid-career teachers, and newly employed teachers had different notions of in-school teacher training. For improving consultation competencies of teachers, it is important to break away from the “traditional type” of in-school training which focuses on curriculum and to have teachers engage in active discussion on their views of understanding children and educational environment using day-to-day episodes. In-school training in which teachers exchange ideas and reflect on their teaching is effective for newly employed teachers as well as other teachers. However, the present study showed that mid-career teachers play a central role in in-school training and developing a new in-school training system is needed.

研究分野：幼児教育

キーワード：園内研修 保育相談力 中堅教員 新規採用教員 幼稚園教員の専門性 園内研修システム

1. 研究開始当初の背景

(1) 少子化、核家族化、都市化、国際化、情報化、女性の社会進出等の環境の急速な変化は、子どもの発達や子育てに重大な影響をもたらしている。幼稚園においては、これらの課題に対応するために、保育者一人一人の総合的な資質向上が求められている。近年では、子どもの発達にかかる問題の多様化や複雑化、深刻化等により、外部の心理臨床専門家等と連携して、これらの課題に対応していくこともあり、園内研修を通して保育相談力を高めてその解決に臨むことが求められている。

(2) 各幼稚園においては、子どもの発達の課題に応じて保育の改善を図ろうとしつつも、カリキュラム中心型の園内研修では必ずしもこれらの課題について議論することができない。保育者の力量形成の場としての園内研修や、園内研修を通して園の教育力を高めることにつながっていかない。園内研修の進め方に課題がある。

(3) 特に幼稚園は、園の教職員は少人数であったり、また経験の少ない保育者も多かったり、さらには幼保一体化による園機能の拡大等により保育者間で話し合う時間が十分とれなかったりする等の実態があり、協力体制をつくり組織体で対応することが求められる。この場合、保育者の資質向上が、個人の努力で語られることが多く、園の体制との関連で語られることは少ない。

2. 研究の目的

(1) 保育者の力量形成の場としての園内研修に焦点を当て、従来型の園内研修の問題点を把握するとともに、その改善に向けての課題を整理する。

(2) 園内研修の効果的運営と保育者の自己成長型力量形成との相関を捉え、自ら学ぶ保育者の園内研修システム開発を目指す。

3. 研究の方法

(1) 幼稚園における園内研修の実態調査として、神奈川県と兵庫県において、園長と園長が「中堅」と考えている中堅教員にインタビュー調査をする。

(2) 幼稚園における園内研修の実態調査として、神奈川県、兵庫県、栃木県、埼玉県、新潟県の私立幼稚園を対象に、園内研修と教員の力量形成に係る質問紙調査をする。調査の対象は、園長、研修担当教員、新任教員である。

4. 研究成果

(1) 中堅教員と園長の語りから、保育者は他者との関係性を軸に成長のプロセスを捉えていることがわかる。中堅教員は、自らの

ポジションは、関係性の拡大として捉えているが、園長は、教師間で当該教員の位置づけの変化として捉えている。また、教員としての成長には、「話し合うこと」が重視されていることがわかった。

(2) 園長から「中堅教員」として推薦された教員にインタビュー調査すると、自身が「中堅」として見られることに消極的な発言が多いことや、若い保育者の悩みに共感したり、保育者間の中で中間的なポジションとしての役割は認識しているが、園全体について考えるは自分の役割とは違うと認識している。

(3) 私立幼稚園における園内研修の質問紙調査から、園長、研修担当、新任教員のそれぞれが研修に異なるイメージをもっていることがわかった。特に、園長と新任教員の研修のイメージは大きく異なり、園長は新任教員の研修をサポートしているつもりだが、新任教員はそう受け止めていない。新任教員に対する研修は、特にその内容の工夫が必要である。

(4) 研修担当教員は、役に立つ園内研修として事例検討を挙げている。保育相談力向上のためには、カリキュラム中心の「従来型」の園内研修から脱却し、日頃から個別の事例を取り上げ、教員間で子どもの見方や環境の在り方を話し合うことが必要であると考えている。

(5) 保育実践を交流して学び合う園内研修は、新規採用教員の研修にも、また他の教員の研修にも有効であるが、この場合、園内研修の中核としての中堅教員の役割は重要であり、これを基盤にして園内研修システムを再構築することが求められる。

(6) 園の職員の年齢構成によって、中堅教員に期待することが異なる。職員に若い年齢の多い園にいる中堅教員は、後輩に指導する内容が、人間関係の調整や園組織の理解など、多岐にわたっている。職員の年齢構成が比較的高い園では、保育に向かう姿勢や保育の質の高さが求められていた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 3件)

中橋 美穂・橋本 祐子 (2016)「幼稚園における園内研修の実態に関する研究 - 研修担当教員への質問紙調査から - 」『教育学論究』第7号 関西学院大学教育学会

神長 美津子 (2015)「専門職としての保育

者」『保育学研究』第53巻第1号 日本保育学会 p94-p103

神長 美津子(2014)「これからの保育者養成の在り方」『保育学研究』第52巻第3号 日本保育学会 p449

〔学会発表〕(計 8件)

山瀬 範子、神長 美津子、野本 茂夫、
廣井 雄一 幼稚園教員の抱く専門性向上のイメージ 日本保育学会 2017年5月20日～2017年5月21日 川崎医療福祉大学(岡山県倉敷市)

廣井 雄一、山瀬 範子、神長 美津子、
野本 茂夫 新任教員に対するサポート体制 - 幼稚園における園内研修の実態調査から - 日本乳幼児教育学会
2016年11月26日～2016年11月27日
神戸女子大学(兵庫県神戸市)

山瀬 範子、神長 美津子、野本 茂夫、
廣井 雄一 園長の考える中堅像 - 幼稚園における園内研修の実態調査から - 日本保育学会
2016年5月7日～2016年5月8日
東京学芸大学(東京都小金井市)

廣井 雄一 幼稚園教員の経験年数の実態 こども環境学会 2016年4月22日～2016年4月24日
富山大学(富山県富山市)

山瀬 範子、廣井 雄一、神長 美津子、
日浦 直美、柴崎 正行、橋本 祐子、
野本 茂夫、中橋 美穂
幼稚園における園内研修の実態調査についての考察
日本乳幼児教育学会
2015年11月28日～2015年11月29日
昭和女子大学(東京都世田谷区)

廣井 雄一、山瀬 範子、神長 美津子、
日浦 直美、柴崎 正行、橋本 祐子、
野本 茂夫、中橋 美穂
幼稚園における園内研修の実態調査についての考察
日本乳幼児教育学会
2015年11月28日～2015年11月29日
昭和女子大学(東京都世田谷区)

山瀬 範子、神長 美津子、野本 茂夫、
廣井 雄一
保育者の園内研修を通じた育ち - 園長と中堅のインタビューから - 日本保育学会
2015年5月9日～2015年5月10日

椋山女学園大学(愛知県名古屋市)

中橋 美穂、橋本 祐子、日浦 直美
園内研修における中堅保育者の役割観 - 同僚との関係を視点として
日本保育学会、2015年5月9日～2015年5月10日 椋山女学園大学(愛知県名古屋市)

〔図書〕(計 4件)

山瀬 範子(2017)「保育力アップにつながる園内研修」『3・4・5歳児のごっこ遊び』ひかりのくに p136-p154

神長美津子(2016)「『保育者になる』ということ - 展望と課題 - 」『専門職としての保育者 - 保育者の力量形成に視点を当てて - 』光生館 p1-p12

神長美津子(2016)「学び合う場としての園内研修」『専門職としての保育者 - 保育者の力量形成に視点を当てて - 』光生館 p137-p148

秋田喜代美、神長美津子(2016)編著『園内研修に生かせる実践・記録・共有アイデア』学研 p11 p39 p41 p49 p59 p65 p83

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織
(1) 研究代表者
神長 美津子(KAMINAGA, Mitsuko)
國學院大學・人間開発学部・教授
研究者番号：80353390

(2)研究分担者

日浦 直美 (HIURA,Naomi)
関西学院大学・教育学部・教授
研究者番号：80181056

(3)連携研究者

野本 茂夫 (NOMOTO, Sigeo)
國學院大學・人間開発学部・教授
研究者番号：10616890

小田 豊 (ODA,Yutaka)
聖徳大学・児童学部・教授
研究者番号：50024998

橋本 祐子 (HASIMOTO, Yuuko)
関西学院大学・教育学部・教授
研究者番号：80228428

中橋 美穂 (NAKASHI, Miho)
大阪教育大学・教育学部・准教授
研究者番号：30291876

山瀬 範子 (YAMASE, Noriko)
國學院大學・人間開発学部・准教授
研究者番号：00455057

廣井 雄一 (HIROI, Yuuchi)
國學院大學・人間開発学部・助教
研究者番号：80723709